

2010年1月1日～2025年3月31日に当院に外傷で入院・加療された方 及びご家族の方へ

「外傷患者における MRSA 保菌者の地域性の検討」へのご協力のお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学救急医学	講師	上野	太輔
研究分担者	救急医学	教授	椎野	泰和
	救急医学	准教授	井上	貴博
	救急医学	准教授	宮本	聡美
	川崎医科大学附属病院	救急科 医長	木下	公久
	救急医学	講師	高橋	治郎
	救急医学	臨床助教	岡根	堯弘
	救急医学	臨床助教	藤本	晃充

1. 研究の概要

日本で ICU 入院患者における MRSA 保菌者は約 30%と報告されています。さらに、MRSA 保菌のリスクに関して、基礎疾患（血液透析、免疫抑制剤）、複数の入院歴、高齢者、抗生剤使用歴などが明らかとなっており、さらに欧米では家畜飼育歴や地域性も指摘されています。

当科では ICU 入院患者に対して全例 MRSA の保菌検索のため咽頭、鼻腔培養検査を行っています。当科 ICU 入院した外傷患者の MRSA 陽性率を岡山県（岡山市各区、倉敷市など）及び隣県の住所を基に統計解析し、本邦における MRSA 保菌の地域性があるかを検討します。なお、対象年齢は上記のリスクを考慮し、65 歳以下とさせていただきます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2010年1月1日～2025年3月31日に川崎医科大学附属病院に外傷で入院・加療された方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2026年3月31日

3) 研究方法

2010年1月1日～2025年3月31日に当院に外傷で入院・加療された方で、研究者が診療情報をもとに年齢や性別、既往症、現住所、過去12か月間の抗生剤内服歴・入院歴、施設入所の有無、家畜飼育歴、動物飼育歴などのデータを選び、地域毎（岡山市、倉敷市、真庭市など）に外傷患者の MRSA 保菌率を調査します。

4) 使用する情報の種類

情報：年齢や性別、既往症、過去12か月間の抗生剤内服歴・入院歴、施設入所の有無、家畜飼育歴、

動物飼育歴、住まれている地域（岡山市、倉敷市、真庭市など） 等

5) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学救急医学教室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2025年12月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<お問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学 救急医学

氏名：上野 太輔

電話：086-462-1111 内線 44332（平日：8時00分～17時00分）

E-mail：daisuke0111@hotmail.co.jp

3. 資金と利益相反

本研究は学内研究費を用いて行われます。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。